

## 事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042 (769) 8240
担当部課名	環境保全部	環境対策	課	
事務事業名	環境保全部職場研修費		事業コード	

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	~ 63
施策名	第 施策	▼ 年度

## 2 実施根拠及び関連法令等

地方公務員法、相模原市職員研修規程

## 3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
職場研修への参加を通じて、職員の資質の向上、職場の活性化、業務の円滑な推進を図る。		環境保全部職員	
		対象数	延べ50人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化対策研修、</li> <li>・環境マネジメントシステム構築実務研修、</li> <li>・環境マネジメントシステム審査員研修、</li> <li>・水質計測機器維持管理講習会、</li> <li>・騒音振動技術講習会、</li> <li>・環境情報研修、</li> <li>・都市緑化基金連絡協議会研修会、</li> <li>・都市緑化技術講習会、</li> <li>・チェーンソー講習会、</li> <li>・都市環境緑化推進研究会、</li> <li>・墓地管理講習会、</li> <li>・公園緑地講習会、</li> <li>・建設技術講習会、</li> <li>日本公園緑地全国大会</li> </ul>		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	平成13年度職員研修計画
		計画年次	13 年度 ~ 年度

## 4 評価指標

指標名	職場研修出席率(%)		
指標式	実出席日数41/目標延べ出席日数50×100		
指標設定の意図	職場研修の出席率を把握することにより研修の成果を表す。		

## 5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 82	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	884	966	736	998	907
	人員・時間数	15時間	15時間	15時間	15時間	15時間
	人件費	63	63	63	63	63
	その他経費					
	合計	947	1,029	799	1,061	970
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している ( 100%)	= 、 、 の平均値 = 82.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{82.0}{100.0} \times 100 = 82.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由 :	予定していた研修を緊急を要する他の研修、視察に変更したため。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	業務が専門的、技術的に高度化する中で、職員の資質を向上させ、業務の円滑な推進を図るために、職場研修の重要性は高い。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	経費は研修に必要な資料等に要するもの及び旅費に係るもので金額的にも妥当と考える。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	職員の研修は、任命権者が行うものとされており、代替の可能性はない。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	研修を受講し、業務が円滑に推進されることにより、市民の理解は得られると考える。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	環境の保全と創造に向けた取り組みの中で、専門的、技術的な研修の受講は、上位施策の実現に有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 社会の変化に即応した、より専門的、技術的な研修が受講できるよう研究すべきである。
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<b>説明 :</b> 予算の範囲内で最大の効果をあげるように努めている。

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	本事業は、職員の資質向上、職場の活性化、業務の円滑な推進を図る上で必要性、重要性は高い。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点